

物流改善で物流危機を乗り越える！



おかげさまで
中部支部25周年

中部物流改善事例発表会2024 開催のご案内

開催日 2024年11月26日(火) 13:30~16:30

参加形式 会場参加・オンライン参加(Zoom)選択形式

会場 名古屋商工会議所 2階ホール
愛知県名古屋市中区栄2-10-19

参加定員 150名
(会場/オンライン併せた人数。定員になり次第締め切らせていただきます)

◆中部物流改善事例発表会とは

- ・物流現場の様々な問題を改善するためのノウハウやヒントを共有する場
- ・物流現場改善に関する取り組み事例を相互に発表する情報交流の場

◆今回の発表事例のテーマ

- ・危険個所・注意作業の抽出と死角把握による安全性向上と教育の改善
- ・バス予約システム導入と構内動線改善による安全性・生産性の向上
- ・ICバンドや内製アプリを活用した生産性の見える化
- ・屋外用AGVを活用した工場間物流の無人化

1 (株)アイシン・ロジテクサービス

3 ジヤトコ(株)

2 愛知海運(株)

4 名港海運(株)

【特別講演】

2024年度優秀物流改善賞受賞事例

SBS東芝ロジスティクス(株)

【解説】

「物流危機を乗り越える物流改善の重要性」

中野 昭男 氏(のぞみ経営研究所 所長/中部物流改善事例発表会実行委員会 副委員長)

主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会

プログラム

開会挨拶 13:30-13:35	蟹井 修 中部物流改善事例発表会 実行委員会 委員長 名港海運(株) 専務執行役員
【発表①】 13:35-13:55	危険箇所・注意点の抽出と重機死角の把握による安全向上 愛知海運(株) 碧南支店 支店長代理 佐々木 統浩 氏 港湾運送事業の現場では大型重機を使用した作業が主となっており、事故発生時には重大災害となる。重機使用においては各作業者の経験値により技量差があり、新人および新配属者は時間をかけて重機の特長、作業の危険性について、経験を積むことで身につけている。今回、3ヶ月のQC小集団活動において、作業者が中心となり、重機の特長や過去の事故事例の洗い出しを行い、新人教育に使用できるマニュアルを作成し、安全性向上に取り組んだ。
【発表②】 13:55-14:15	倉庫作業の安全性・生産性向上への取り組み ～バース予約システムの導入と構内動線の改善～ 名港海運(株) 物流センター統括部 グループリーダー 伊藤 雄佑 氏 搬出入車両が特定の時間に集中していることや車両・人の動線が交錯している物流センターがあり、安全性の担保・生産性の向上が課題であった。そこで構内動線の改善とあわせて、バース予約システムを導入し、課題の解決に取り組んだ。また実効性を高めるために、当該物流センターに出入りするドライバーが予約システムを使いやすいように、動画を活用した手順書ツールを活用した。
14:15-14:40	質疑応答/講評および記念品贈呈/休憩
【発表③】 14:40-15:00	ITを活用した作業工数取得の取組みと生産現場への横展 (株)アイシン・ ロジテックサービス 物流部・担当員 成田 允伸 氏 自社の物流現場では作業実績を把握するため手書きの作業日報を使用していたが、約200人分の用紙準備やデータ集約など運用に課題があったため、ICバンドと連携した内製したアプリを活用することで手書き日報を廃止した。また、基準工数表示や実績数の記録など追加機能を実装することで物流現場だけでなく生産現場への横展を実現した。
【発表④】 15:00-15:20	建屋間及び屋内における一貫物流の無人化システムを実用化 ジヤトコ(株) ユニット技術部 物流技術課 西尾 省吾 氏 離れた建屋間をつなぐ物流工程をトラックからAGVシステムに改善し、全自動を目指し、つなぎ改善による作業者レス（人が触れない物流自動化、搬送、積み下ろしまで全自動で行うシステム）や人目が届かない屋外運搬に対応したリアルタイム監視と異常発報、トラック搬送廃止によるCO2削減（カーボンニュートラルへの貢献）を実現した。
15:20-15:45	質疑応答/講評および記念品贈呈/休憩
【特別講演】 15:45-16:05	【2024年度優秀物流改善賞受賞事例】 「ムリ・ムダ・ムラ取り改善による作業者の負荷軽減 ～ストレスのない作業を目指して～」 SBS東芝ロジスティクス(株) (物流現場改善優良認定2024:プラチナ) 電子デバイス事業部 大分ロジセンター 大分運輸(株) 塩手 規子 氏 
【解説】 (閉会挨拶に代えて) 16:05-16:30	「物流危機を乗り越える物流改善の重要性」 中野 昭男 中部物流改善事例発表会 実行委員会 副委員長 (一般社団法人日本物流資格士会中地区委員会 委員長 / のぞみ経営研究所 代表)

中部物流改善事例発表会 実行委員会 委員

中部物流改善事例発表会は、実行委員会にて企画、運営を行っています。

(2024年9月1日現在・敬称略・順不同)

	氏名	所属・役職
委員長	蟹井 修	名港海運(株) 専務執行役員
副委員長	中野 昭男	のぞみ経営研究所 代表 (日本物流資格士会)
委員	片桐 潔	愛知海運(株) 国内物流部 部長 (日本物流資格士会)
委員	金成 智久	佐川グローバルロジスティクス(株) 中部エリア エリアマネジャー
委員	井戸 真也	(株)ダイフク イントラロジスティクス営業部 支店統括部 中部支店 支店長
委員	榊原 直道	中北薬品(株) 業務物流本部 執行役員 業務物流本部長 (日本物流資格士会)
委員	棚橋 昭徳	日本トランスシティ(株) 執行役員 経営企画部長
委員	井上 理	(株)富士ロジテックホールディングス 常務執行役員 ナショナルセールスブロック長
委員	川北 俊信	名港海運(株) 業務部 部長

～物流現場改善に取り組む皆さんを応援します！～ 物流現場改善優良認定制度のご案内

日本ロジスティクスシステム協会(略称:JILS)では「物流現場改善優良認定」制度を2022年度よりスタートしました。本制度は物流現場改善に積極的に取り組まれている皆様の活動を応援すべく、物流現場改善の先進企業として認定させていただくことで、広く産業界に周知させていただくことをねらいとしております。

【物流現場改善優良認定 ロゴマーク】



※提供したロゴマークのデータは名刺や会社案内等各種媒体への掲載など自由にご活用いただけます。

※認定は年度ごとに実施しており、ロゴマーク自体に認定年度(西暦)が記載されます。

なお、認定基準等につきましては当協会HPをご覧ください。

<https://www1.logistics.or.jp/propulsion/kaizenn.html>



物流現場改善推進ポータルサイトをご活用ください

JILSの物流現場改善の活動については、以下のURLをご参照ください

<https://www1.logistics.or.jp/subdivision/>



物流現場改善推進のための手引書

物流の現場力強化のためのヒントえ
通路を掲載した物流現場担当者の方
に活用いただくための現場改善の手
引書です。



物流現場改善事例集

2007年以降に全日本物流改善事例大
会にて発表された優秀事例をまとめ
た事例集です。200を超える事例か
ら課題業種別に検索できます。



コラム「物流改善のすすめ」

物流現場改善を集めるきっかけとし
て改善の考え方や手法事例等お伝え
するコラム物流現場改善のすすめを
掲載しています



物流現場改善推進員委員会

現場改善の推進や高度化のあり方な
ど、物流現場改善を産業界に普及す
るための取り組みについて検討して
います。



物流現場改善・チェックリスト

物流改善リーダーに必要な能力を把
握する「キャリアアップ診断」等、
物流現場力向上に取り組むうえで参
考となる各種診断を行っています。



物流現場改善活動の実態調査

物流現場改善推進活動に取り組むた
め、各企業の物流現場改善の状況
を把握すべく実態調査を実施してい
ます。

中部物流改善事例発表会 2024 <参加申込規程>

参加料(会場参加・オンライン参加とも同価格です。) (消費税込)

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

会員 7,700円/1名

会員外 16,500円/1名

◆有資格者優待 (フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深い実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。
◇ フォローアッププログラム参加料：5,500円/1名 (消費税込)
フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。
※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員

- 会場参加：100名
 - オンライン参加：50名
- (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

当協会のホームページよりお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp/network/LA33.html>

<https://www1.logistics.or.jp/>
または「JILS」で検索してください。

[トップ](#) → [事業案内](#) → [改善事例大会・発表会](#)

※申込締切日：2024年11月20日(水)

参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者のE-mail宛に送付いたします。
それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日含まず起算) …… 参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日 …… 参加料(原則として消費税を除く)の全額
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

ご 注 意

- お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。
- 参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。
※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。
- 会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。
なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

参加申込・問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
〒460-0008
名古屋市中区栄1-22-16 ミナミ栄ビル407号
TEL:052-228-2225 FAX:03-3436-3190
e-mail : chubu@logistics.or.jp



オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信 (Zoom利用) いたします。日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご承知いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録画、録音、撮影は禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止させることがあります。

会場のご案内

名古屋商工会議所 2階ホール

名古屋市中区栄2-10-19

商工会議所ビル2階

<アクセス>

「伏見駅」(東山線・鶴舞線)下車
(名古屋駅より東山線で1区間)

5番出口より南へ徒歩5分

※お客様用の駐車場はご用意がございません。
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催しに関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。